

文部科学記者会加盟社 各位  
報道関係者各位

2023年12月14日 配信 No.2023-37  
立命館アジア太平洋大学 (APU)

## 次期学長による新プラン 「APUの新たな挑戦 ～Leap Beyond Global～」を2024年から展開

立命館アジア太平洋大学（所在：大分県別府市、学長：出口治明、APU）は、2024年1月1日に第5代学長に就任する米山 裕（よねやま ひろし）次期学長が2024年より展開する新たなプラン「Leap Beyond Global」を発表しました。

世界の様々な地域で続く紛争、難民問題、貧困・格差社会、それらによって引き起こされる世界の分断、さらには気候変動・自然災害による環境破壊など、現代社会は複雑化し混迷を深めています。このような社会だからこそ、APUは従来の枠を越えて新しい大学のあり方を模索し、その実現を図る「Leap Beyond Global」を展開します。

この「Leap Beyond Global」の実現のために、2024年1月より新たに2名の副学長を迎えます。立命館大学情報理工学部で、心理物理学的手法を用いた人間視覚系情報処理機構に関する研究と色彩工学、視環境工学への応用で人・実社会と最先端の科学技術とのつながりを研究してきた篠田博之新副学長は「STEMマインドをもったD&I人材」の育成を牽引します。また、最年少で駐コートジボワール特命全権大使を務めた経歴を持つ岡村善文新副学長は、国際戦略担当としてアジアにとらわれない国際ネットワークを活かし、「インパクトを与える地域・社会の拡大」を担います。（個別の詳細プロフィールはP3を参照）

### 「Leap Beyond Global」～APUの新たな3つの挑戦～

#### D&Iが具現・実践される究極の場へ —D&Iの教育・研究・社会実践—

これまで166ヵ国・地域からの文化的・社会的背景が異なる学生を受け入れてきた実績と、20年以上にわたる多国籍・多文化環境の運営によって、インクルーシブな環境のつくり方、多様性を組織の総合力に転換するリーダーシップのあり方などの知見を培ってきました。これらの成果に基づき、世界でもAPUにしかできないダイバーシティ&インクルージョン（D&I）の実践と人材教育を行うとともに、D&I教育を地域社会や産業界に提供すること、D&Iの切り口から社会課題を解決することを通して、共生社会の実現に貢献します。

#### APUコミュニティの拡大 —ライフロング・ラーナー—

年齢、職業・社会的役割などにとらわれず、様々な属性・立場の人間が交わり合うことで、それぞれが多様な課題や問いを共有し、社会課題として解決する新たなプラットフォームとなることを目指します。そのため従来の18歳から25歳を中心とした学習コミュニティから、初等・中等、社会人など多様な社会的属性を持った人々が課題解決を通じて新たな知見を得て、個人の能力を拡張・転換すると同時に、他者と

の共創も実現することのできる、人生のあらゆるフェーズで学び続ける意思のある人々（ライフロング・ラーナー）のコミュニティへと拡張します。

## 大学の役割・機能の拡張 —社会的インパクトの最大化—

大学自体が社会を変える機能を持つべきだという考え方のもと、現在大学の役割として定義される「教育・研究・社会貢献」にとどまらず、「社会課題・地域課題の抽出とデザイン」、「課題解決のための共創」「プロトタイプング・実証」「テストフィールドの提供」「課題解決人材ネットワークのハブ」などの機能を付加します。APUは、世界をよりよく変えるための課題解決のフィールドとして、課題解決人材のネットワークの中核となり、社会問題解決のハブとしての新たな役割を担います。

## 「Leap Beyond Global」～今後の具体的な取り組み～

APUでしか実現できない多様性への適応力と受容性を備えたD&I人材を育成するため、以下の取り組みを行います。

### ● 九州工業大学、福岡県飯塚市との三者協定の締結

私たちを取り巻く地球環境は刻々と変化し、科学技術のアプローチなくしてその課題を解決することはできません。そのためAPUでは、理系大学と文系大学の新たな連携モデルを作ることにより、理系分野と社会科学分野の融合による「STEMマインドをもったD&I人材」の育成を実現します。その一環としてこの度、APU、九州工業大学、福岡県飯塚市で三者協定を締結し、理系分野と社会科学分野の融合による「STEMマインドをもったD&I人材」の育成に取り組みます。九州工業大学との連携による学位プログラムの開発を目指すとともに、福岡県飯塚市をフィールドとした社会課題解決のための実証実験、社会実装活動を行います。さらにこれらの取り組みを通じて、地域社会や産業界・経済界とも連携し、高度人材の九州地域への定着を図ります。なお、別途協定締結式を執り行う予定です。

### ● 「別府インクルーシブ・スマートシティ構想」の展開

APUは、障がいの有無や様々な特性の違いに関わらず、共に暮らしやすいインクルーシブな都市モデルを構築したいと考えています。多様なステークホルダーと連携し、別府を先進事例として世界に発信する「別府インクルーシブ・スマートシティ構想」を展開します。

障がいをもった当事者が「課題解決のパートナー」として、課題の発見と解決のプロセスに参画し、企業、行政、学術・研究機関などと一緒に技術やサービスの社会実装を進める「リビングラボ」を構築します。別府市を共創の場とし、障がいインクルーシブな新しいサービスやプロダクトが連続的に創出され、世界に発信する都市モデルを生み出すことを目指します。

### ● 特命副学長制度の導入（高校生特命副学長・在校生特命副学長の任命）

特命副学長制度を導入し、高校生・在学生から各1名ずつ特命副学長を任命します。特命副学長は、「課題抽出・中長期ビジョン形成」に特化した役割を担い、APUに新たな改革の視点と推進力をもたらします。特命副学長制度により、多様な価値を創造・共有する新しい大学の姿を目指します。

※特命副学長募集については、別途添付資料（P4~5）をご参照下さい。

## **「Leap Beyond Global」を支える新たな副学長**

### **篠田 博之（しのだ ひろゆき）新副学長**

**期待する役割：理系分野と社会科学分野の融合による「STEM マインドをもった D&I 人材」の育成を牽引する**

1966 年神奈川県生まれ。東京工業大学卒業後、同大学大学院総合理工学研究科物理情報工学専攻 博士前期課程を修了。1995 年京都大学大学院工学研究科建築学専攻博士後期課程を修了し、博士（工学）取得。立命館大学において理工学部電子工学科専任講師、理工学部光工学科助教授、理工学部電子光情報工学科教授、情報理工学部知能情報学科教授を経て、2024 年 1 月より立命館アジア太平洋大学副学長に着任予定。

立命館大学において、研究部長、リサーチライフサポート室長、グローバルイノベーション研究機構副機構長、キャリアセンター部長を歴任。学会においても 2020 年 6 月より日本色彩学会会長を務めており、他にも照明学会理事などを歴任。

心理物理学的手法を用いた人間視覚系情報処理機構に関する研究と色彩工学、視環境工学への応用を研究。様々な色覚特性のひとに配慮した視環境デザインあるいはツール開発に関する研究をテーマにしている。

### **岡村 善文（おかむら よしふみ）新副学長**

**期待する役割：アジア太平洋地域を越えたグローバル社会における「インパクトを与える地域・社会の拡大」**

1958 年大阪府生まれ。東京大学法学部卒業後、外務省入省。国際連合や国際原子力機関での経験を積み、武力紛争のある地域において外交使節として派遣される。2008 年には、最年少 50 歳で駐コートジボワール特命全権大使に任命された。その後、シカゴ総領事を経て、中東アフリカ局アフリカ部長、第 5 回アフリカ開発会議（TICAD V）事務局長兼務など、アフリカ諸国との外交の発展に力をつくす。2014 年には国際連合日本政府代表部特命全権大使に就任。国連安全保障理事会において、アフリカにおける紛争問題の解決に従事した。2019 年には OECD 日本政府代表部特命全権大使に就任。国際的なビジョンと豊富な経験を持つ外交官として、日本の国際的な関与において重要なリーダーシップを発揮してきた。2024 年 1 月より立命館アジア太平洋大学副学長に着任予定。

2024 年 1 月以降の出口治明学長について

現学長の出口治明は、2024 年 1 月以降「学長特命補佐」となり、東京キャンパスを拠点として、「Leap Beyond Global」を支えていきます。これまでの知見、経験、ネットワークを活用し、APU と社会をつなげる役割を担います。

#### **【お問い合わせ・取材お申込み】**

学長室（広報）担当：井口（いのくち）、ジョーンズ

Tel: 0977-78-1114 携帯：090-5473-3803 Email：[r-apu@apu.ac.jp](mailto:r-apu@apu.ac.jp)

(別紙添付資料)

**立命館アジア太平洋大学、2024 年より「特命副学長制度」を導入  
高校生副学長と在校生副学長が誕生予定**

立命館アジア太平洋大学（所在：大分県別府市、学長：出口治明、APU）は、2024 年 1 月 1 日に第 5 代学長に就任する米山 裕（よねやま ひろし）次期学長が、2024 年より展開する新たなプラン「Leap Beyond Global」を実現する取り組みの一環として、「特命副学長制度」を導入します。

特命副学長は、大学の課題抽出とビジョン形成に特化した職務を遂行する高校生 1 名、在校生 1 名の合計 2 名を任命します。

これまでになかった属性のステーク・ホルダーを、大学のガバナンスに積極的に迎え入れることで、新たな改革の視点と推進力が生まれることを目指しています。多様な意見・提言をうけ、大学としてそれらの実現に真摯に取り組むことで、これまでになくユニークな発想に基づく新たな政策立案につながることを期待しています。

特命副学長募集概要については、以下の通りです。

**特命副学長募集概要**

**1. 高校生特命副学長、およびサミットメンバー募集概要**

募集人員	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生特命副学長 1 名</li> <li>サミットメンバー（高校生特命副学長を支え、共に活動するメンバー）若干名</li> </ul>
対象	2024 年 4 月時点で日本国内在住の高校 1 年生または 2 年生
求める人物像	<ul style="list-style-type: none"> <li>求める人物像：大学教育の未来のために課題を提言するだけでなく、解決したいという強い意志があり、未来志向であること。</li> <li>自ら行動しチームを動かし前向きに取り組めること。</li> <li>APU を通して世の中にプラスのインパクトを起こしたいという意思があること。</li> </ul>
活動テーマと概要	<p>「学びの未来を考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>義務教育、高校での学びを経験して、この先の大学で何をどのように学びたいと考えるのか。10 年後、20 年後の未来社会をイメージした場合に、現状の大学で不足するもの、追加したい要素を明らかにする。</li> <li>APU と他大学を比較し、さらに強化したい要素とその方向性やこれから整備すべき要素とそのイメージを提言する。</li> <li>学習者にとっての大学とは何か？人生 100 年時代のあらゆるステージにおいて存在する「学び」の中で、大学にもとめる機能とは何か？その上で、現在の大学（APU）に整備すべきこと、改革すべきことはなにかを提言する。</li> </ul>
活動拠点	キックオフを APU キャンパスで行った後は、学校法人立命館の各拠点（東京、京都、大阪、滋賀、大分）およびオンラインとする。
選考方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>一次選考：書類審査および短時間のプレゼンテーション動画を提出</li> <li>最終選考：一次選考通過者に対して、APU 役員による対面、</li> </ul>

	またはオンライン面談を実施。
任期	2024年6月～2025年3月
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校生特命副学長募集：2024年2月中旬～2024年4月下旬</li> <li>選考：2024年5月</li> <li>活動期間：2024年6月～2025年3月</li> </ul>
応募先 URL	公式ウェブサイト掲載予定。

## 2. 在校生特命副学長、およびサミットメンバー募集概要

募集人員	<ul style="list-style-type: none"> <li>在校生特命副学長 1名</li> <li>サミットメンバー（在学生特命副学長を支え、共に活動するメンバー）若干名</li> </ul>
対象	応募時点で APU に在籍する 1 回生～3 回生
求める人物像	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学教育の未来のために課題を提言するだけでなく解決したいという意思があり、未来志向であること。</li> <li>自ら行動しチームを動かし前向きに取り組めること。</li> <li>APU を通して世の中にプラスのインパクトを起こしたいという意思があること。</li> </ul>
活動概要 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生の声や他大学との比較の中から、さらに強化したい要素とその方向性、これから整備すべき要素とそのイメージを提言する。</li> <li>学習者にとっての大学とは何か、人生 100 年時代のあらゆるステージにおいて存在する「学び」の中で、大学にもとめる機能とは何か、その上で現在の大学（APU）に整備すべきこと、改革すべきことは何かを提言する。</li> <li>定期的に大学評議会にて、活動報告及び改善に向けた提言を報告する。</li> </ul>
活動拠点	APU キャンパス（大学本部棟内に執務スペースを設置）
選考方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>一次選考：書類審査および短時間のプレゼンテーション動画を提出</li> <li>最終選考：一次選考通過者に対して、APU 役員による対面、またはオンライン面談を実施。</li> </ul>
任期	2024年6月～2025年3月
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>在校生副学長募集：2024年4月</li> <li>選考：2024年5月</li> <li>活動期間：2024年6月～2025年3月</li> </ul>
応募先 URL	公式ウェブサイト掲載予定。

以上